

日常生活圏域の見直し（地域包括支援センター再編）に関するこれまでの質疑応答

1 日常生活圏域

	大分類	小分類	質問	回答
5	日常生活圏域	圏域数	7ヶ所に減らすことに決まった経緯を説明してほしい。	総合計画後期計画でスクール・コミュニティの拡充による地域づくりの推進、地域コミュニティまちづくり協働指針でも中学校区をエリアとする地域づくりと示しており、それに合わせる形で包括も現在の中学校区を基本とした7圏域となった。
32	日常生活圏域	圏域数	7つの中学校区で、今後想定される超高齢化時代に、高齢者が今まで以上に自立した生活を営むことができるかと考えているのか。	地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するために、市としても重層的支援体制整備事業を実施しながら包括的な相談支援事業を行うことによって、地域包括ケアシステムの拡充に努めていく予定。
44	日常生活圏域	圏域数	日常生活圏域を7か所とする対象地域は。	主に中学校区を基本として考えている。今後の人口動態、地域の介護に関する資源なども検討しながら、コミュニティが分断されないよう、最適な配置を検討したい。

2 地域包括支援センター

(1) 人員配置

	大分類	小分類	質問	回答
4	地域包括支援センター	人員配置	三職種そろえる必要があることもわかるが、地域包括ケアシステム実現のためには何が必要なのか考えていく必要がある。	

	大分類	小分類	質問	回答
6	地域包括支援センター	人員配置	3職種配置による機能強化をはかるとなっているが、現状3職種いる包括はどのように機能強化をするのか。	今後検討していく。
7	地域包括支援センター	人員配置	2職種配置の包括は機能が劣っていると考えているのか。	各職種が本来業務に専念し役割を果たせるよう3職種配置が必要。現在の包括を維持することは財政面でも厳しいため再編が必要。
8	地域包括支援センター	人員配置	2職種でもいろいろなケースに対応しているが、職種がない部分是对応が足りないのかなと考えることもある。	
13	地域包括支援センター	人員配置	機能強化のため手厚い人員補充をお願いしたい。	
19	地域包括支援センター	人員配置	高齢者の問題に限らず、複合的な相談に対応できるよう職種の配置や人数など体制を検討する必要がある。	重層的支援体制整備においても総合相談機能は期待されている部分。再編にあたり、包括と市の役割や業務を見直し整理したい。
26	地域包括支援センター	人員配置	保健師等の人材確保ができない場合、誰が責任を持ち誰が確保するのか。	3職種確保できる法人に委託したいと考えている。そのように仕様書に明記したい。
27	地域包括支援センター	人員配置	結論は7圏域にする方向なのだと思う。人員配置も含めて、再編にあたり人材確保には大変な労力を要することを理解していただきたい。	
36	地域包括支援センター	人員配置	高齢者の多い圏域は現在でも今現在の人員で忙しくて対応しきれないのではないか。包括支援センターの人員は十分に確保できるか心配。	
38	地域包括支援センター	人員配置	業務量に応じた適切な人員配置を具体的にご説明してもらいたい。	

(2) 生活支援コーディネーター・認知症支援推進員

	大分類	小分類	質問	回答
1	地域包括支援センター	生活支援コーディネーター	生活支援コーディネーターの配置は。	圏域に1名設置となる。
14	地域包括支援センター	生活支援コーディネーター	生活支援コーディネーターはどうか。	各圏域に1名となるため7名となる。

	大分類	小分類	質問	回答
10	地域包括支援センター	認知症支援推進員	認知症地域支援推進業務を兼務ではなく専任で配置するような形も検討していただきたい。	本来業務を圧迫している課題も大きい。県内の状況や先進事例も踏まえ、3職種が本来業務をできるような体制を考えていきたい。

(3) 相談機能

	大分類	小分類	質問	回答
25	地域包括支援センター	相談機能	2法人合同となった場合、実際はどうすればいいのか。損失補填は誰がするのか。どちらかの法人が主体をとるといふことか。	民間の場合は出向という形もあるようだ。協定等を取り交わし労務の基準を明確に位置付け、双方が確認したうえでやっている。ただ、そういうやり方がいいのか、メインのところがあってランチを置くやり方がいいのか検討する必要がある。
31	地域包括支援センター	相談機能	地域包括支援センターが減ることにより、高齢者福祉と介護予防の衰退につながらないのか	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の高齢者人口が3,000人以上となり、介護保険法上の3職種（保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員）が配置され、充実した基盤を整備し、地域包括支援センターの機能強化が図られていくものとする。 ・新たに相談窓口を設けるなどにより、現状の質を落とさずに対応することを検討。再編により対象となる地域が広がる一部の圏域について、地域の拠点を相談窓口を担うランチとして活用することや、ICTの活用など、相談環境の質の確保に配慮しつつ、高齢者福祉と介護予防を維持継続できる体制を今後検討。
33	地域包括支援センター	相談機能	地域包括支援センターが減ることにより問題の早期発見・対応が難しくなるおそれがある。このデメリットの解消に向けた手立ては。	地域で開催するネットワーク会議を活用しながら、支援の必要な高齢者の見守りと介護予防を継続。数多くの様々な介護保険の事業所ともきちんと情報交換、連携する。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、協力できる部分を一緒に高齢者の皆様と共に力を合わせながら地域づくりをしていく視点を持ちながら、再編に向けては十分な議論を尽くす。

	大分類	小分類	質問	回答
34	地域包括支援センター	相談機能	地域包括支援センターが近くにある安心感というか、ぜひ高齢者目線での再編や取組をお願いしたい。	
35	地域包括支援センター	相談機能	高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、包括支援センターの機能強化をさらに進めていただくことをお願いする。	
39	地域包括支援センター	相談機能	数合わせではなく、質を一層高める方向で検討してもらいたい。	相談件数の多さと移動距離については、質を確保するように検討したい。
41	地域包括支援センター	相談機能	日常生活圏域の見直しで、包括支援センターは高齢者6000人を4人で見ることになるが、もっと人員を増やせないのか。	圏域が広がることで包括支援センター職員1人あたりが見る範囲が増えるというデメリットを、いかになくしていくかが課題。
43	地域包括支援センター	相談機能	自治会・民生委員は包括支援センターが出来たことで、これまで様々な相談をして助けられてきた。地域包括支援センターの人員体制を強化する方向で進めてもらいたい。	介護保険制度は複雑で理解が難しいので、地域包括支援センターの役割は重要だと実感している。
48	地域包括支援センター	相談機能	10圏域でのメリットもあったのではないかと、それをこれから新しい圏域に生かしていくのかといった視点も持ってもらいたい。	
15	地域包括支援センター	ランチ	相談窓口の設置などを検討しているようだが、どのような形を想定しているか。	ランチのような窓口を設置し、地域包括支援センターにつなぐ役割を考えている。
16	地域包括支援センター	ランチ	包括は相談業務だけではなく、各種通いの場等、多くの地域づくりに携わっている。ランチではそのような役割ができなくなる。	
20	地域包括支援センター	ランチ	相談窓口のランチを置くのであれば職員配置が必要になり、現状と変わらない。担当エリアが広範囲となり回りきれぬのか。	高齢者の相談は来所より電話や包括が出向く場合が多いため、変更になる圏域については、相談窓口の周知をきちんとしていきたい。
21	地域包括支援センター	ランチ	包括とランチの違いは何か。人数配置や業務内容等具体的なイメージについて教えてほしい。予算以外のメリットはあるのか。	住民の利便性を落とさないよう住民に近い相談窓口とする。相談を集約して、地域包括支援センターにつなぐ窓口となる。
3	地域包括支援センター	基幹型	基幹型センターは圏域を持つのか。	基幹型センターは圏域を持たない。重層的支援体制整備を進めていく中で基幹型センターが必要かどうかも含め今後検討していく。

	大分類	小分類	質問	回答
29	地域包括支援センター	基幹型	なぜ今の時期なのか。	重層的支援体制整備事業の開始に合わせ、基幹型設置の必要性も含めて検討していきたい。包括の後方支援として基幹型が必要か9期の最終年度までには検討していきたい。
30	地域包括支援センター	基幹型	基幹型センターは課を超えた相談ができるのか。	地域包括支援係で色々バックアップをしている。その機能を充実させるイメージで基幹型の名称を出しているが、必要性から含めて検討していく。
37	地域包括支援センター	基幹型	基幹型地域包括支援センターは、やる方向で第9期計画に盛り込んでもらいたい。	重層的支援体制整備の窓口の状況を踏まえて、必要性は考えていきたい。
40	地域包括支援センター	基幹型	基幹型支援センターを配置して、全市統一したほうが良いのではないか。	重層的支援体制整備の中で必要かどうか確認して検討したい。
42	地域包括支援センター	基幹型	基幹型は別に設置するのか。	その通り。
47	地域包括支援センター	基幹型	DXを活用するとか、新しい仕掛けをしていってデメリットを解消するような改善策をセットで示すべき。	様々な仕掛けが必要と思う。デメリットをどう解消するか、マンパワーの不安なども指摘されているので検討したい。

(4) 事業評価・委託料他

	大分類	小分類	質問	回答
17	地域包括支援センター	事業評価	業務量に応じた適切な人員配置とあるが、業務量をどのような基準で評価するのか。	件数だけでなく、内容に関しても分析し適正に評価していきたい。
18	地域包括支援センター	事業評価	評価は全国と比しても立派な内容であり再編と相反するもの。財政面や将来を見据えた包括の機能について、図や文字で示してほしい。	年度内にお示しできるものと、難しい部分もあるので、できるところからお示ししていきたい。
2	地域包括支援センター	委託料	人員を増やさなければ相談に対応できない。人員を増やした際に委託料はどうなるのか。	今後検討していく。
22	地域包括支援センター	委託料	ブランチは予算があるのか。	予算は考えている。委託料設計の際に仕様書でお示しする。
23	地域包括支援センター	委託料	職員配置に関し人員配置や引き継ぎの準備が必要となるため、中身について早期に示してもらいたい。	7圏域の方向性で委託に関する設計書など詳細を組んでいく。人件費、事務所費、光熱水費なども積算に入れていきたい。

	大分類	小分類	質問	回答
24	地域包括支援センター	委託料	職員の雇用に関わるので委託料の見通しは早く示してほしい。法人間で職員の出向もあり得るかもしれない。	6年度予算要求は9月頃までに検討しなければいけないので、代表者の方々とも方向性の確認をする場を持ちながら進めていきたい。可能であれば7年度ということで提示したが、開始年度を1年遅らせることも可能。
28	地域包括支援センター	委託料	具体的な委託料の提示はないか。	他市の状況を調べたうえで検討していきたい。
9	地域包括支援センター	住民理解	この方針で良くなるのか。地域の人々がどう思うのが心配。	
12	地域包括支援センター	住民理解	地域住民への説明はどのように進めるのか。市が主体となって説明をするのか。	第9期計画の中に見直すので、時期を見ながら説明のスケジュールなど決めていく予定。
45	地域包括支援センター	住民理解	地域住民が一番不安に感じると思う。住民周知、地域包括支援センター間の引継ぎの進め方についても、早めに示してもらいたい。	計画全体の説明とは別に、圏域が変わる地域については説明したい。
11	地域包括支援センター	その他	個別避難計画作成のモデル地区にもなっている。事業は増えていくが圏域が減っていくことに負担感を感じる。	
46	地域包括支援センター	その他	今まで出された意見を整理して我々に示してほしいと思う。	これまで議論された内容、課題となりうるポイントをお示ししながら進めたい。